図書館だより

宇都宮市立瑞穂野中学校
令和４年　第２号

今梅雨の季節となりました。梅雨前線の発達により、これからは雨や曇りの日が多くなります。図書館ではたくさんの本と出会えるように分類別の人気の本も揃えています。読書の幅を広げましょう。

五月雨の降り残してや光堂

松尾　芭蕉

梅雨の季節に中尊寺を訪れた芭蕉が、藤原氏の栄華を象徴する荘厳な金色堂を見て詠んだ有名な句です。移ろう季節を心で感じ、みなさんも思い思いの句を読んでみませんか？

メモ　金色堂のある平泉は世界遺産に登録されています。

世界一わかりやすい　俳句の授業』　９１１　イ

テレビ番組の俳句の先生。なんとなく難しそうと思っているあなたもちょっとしたコツさえ知っていれば、簡単に作れるようになります。基礎の基礎から、丁寧に書いてあり、生徒役のＫさんは、初心者にありがちなミスをして、冷や汗をかいて成長していきます。わかりやすくて、共感できる俳句の入門書です。

『雨の名前』　高橋 順子：文（小学館）　４５　タ

五月雨、青葉雨、梅時雨…。日本には雨を表す言葉がたくさんあります。桜が咲く頃に降る「桜雨（さくらあめ）」。日が照っているのに雨が降る「狐雨（きつねあめ）」。雨粒が霧のようにこまかく降りかかる「霧雨（きりさめ）」。一口に「雨」と言って終わらせてしまうには、もったいない！雨が続くこれからの季節を楽しむためのおすすめの１冊です。

お天気クイズ　天気の基礎知識　４５　キ

「雲ってどうやってできるの？」「空が青いのはなぜ？」など、生活の中で感じる天気の素朴な疑問から、気象の不思議に迫ります。私たちが現実に直面している様々な気象現象について、楽しみながら理解を深められるよう、クイズ形式でわかりやすく紹介しています。天気気象、気候といった基本的な用語を勉強して世界の異常気象の原因を探ります。

この他にも、気象に関する本はたくさんあります。分類４５を見てみましょう。

課題図書が決まりました

第６８回　　青少年読書感想文全国コンクール

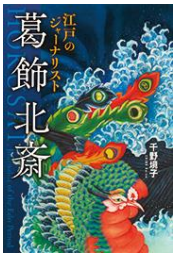
『セカイを科学せよ！』　　安田夏菜：著

すべてが規格外の転校生は「蟲」が大・大・大好き！！日露にルーツを持つミハイルは、日米にルーツを持つ転校生・葉奈と科学部で一緒になり……。ミックスルーツの中学生たちが繰り広げるバイオロジカルコメディ！

『海を見た日』

Ｍ・Ｇ・ヘネシー：著　杉田七重　：訳

同じ家で暮らしていても、心が通わない養母と里子４人。ある日の冒険をきっかけに、「本当の家族」になっていく。清々しい感動作。



『江戸のジャーナリスト葛飾北斎』

千野境子：　著

世界に誇る浮世絵師・葛飾北斎とは、どんな人物だったのか。ジャーナリストの著者独自の視点で、新たな北斎像をあぶり出す。

課題図書
高校生の部

🕮「その扉をたたく音」
瀬尾　まいこ：著
29 歳、無職の青年と、老人ホームで出会った「神様」との奇跡の夏が始まる――。

🕮「建築家になりたい君へ」
隈　研吾　：著
建築家を夢見て難題だらけの仕事にどう挑むか。日本を代表する建築家が今伝えたいメッセージ。

🕮「クジラの骨と僕らの未来」
中村　玄　：著
骨格に興味を持つ少年が哺乳類最大のクジラの博士になるまでを生き生きと描く。

６月５日は「環境の日」　６月は環境月間

私たちがふつうに暮らしているだけでも、地球にさまざまな影響を与えています。未来に美しい地球を残せるよう、自分たちにできるエコについて考えてみましょう。

『考えよう地球環境　ごみの本』　５１　カ

ごみであふれかえる地球環境についてまなび、ごみを減らすために何をすべきか、リサイクルのために何が必要かを考えます。

『くらしの中の知らない化学物質　洗剤』　５１　ク

身近にあふれる化学物質。その働きや性質を、中学生にもわかりやすくクローズアップし、２１世紀の環境問題を考えるシリーズ。

『新版　絵で見てわかるリサイクル事典』　５１　エ

私たちの生活に馴染み深い製品がどのようにリサイクルされているのかを、図解を使ってわかりやすく紹介します。モノづくりの視点からリサイクルへの興味、環境問題への関心を高めてもらう１冊。